

株主の皆様へ

平素は、当社をご支援いただきまして誠にありがとうございます。皆様のご支援を頂き、業績は順調に推移しております。

平成 19 年度中間決算における業績をお示しするとともに、前回の株主総会前に皆様にご案内致しました当社の注力方針の取組み状況についてご報告申し上げます。

(1) 安定的かつ業界水準比高いレベルの株主還元の実現

当社は、中間決算（当社ホームページ、もしくは追って郵送致します中間報告書をご参照ください）において、順調な業績を残すことが出来ました。

下期においても大きな減速要因は見当たらないため、平成 19 年 8 月 15 日発表の通期業績予想は概ね達成できるものと考えております。

また、中期的な展望については後述しますが、現状のトレンドを維持できれば、安定した利益を確保できると見込んでおります。

つきましては、当社は、株主還元の大きな柱であります配当政策について、従来の安定配当に加えて業績連動した配当を行うこととし、連結配当性向 30%を目指して参ります。また、株主還元策の強化・多様化の観点から、自己株式取得につきましても平成 19 年 7 月 30 日に公表した内容から更に取得株式数、取得価額総額の上限を引き上げる所存です。

当社の配当実績はこれまでも業界水準比高いレベルにあったと考えておりますが、更に連結ベースでの配当性向目標を実現させ、拡充した自己株式取得とともに、株主の皆様のご期待に沿いたいと考えております。

(2) コーポレートガバナンスの強化

現状、最適な経営体制により安定的な経営実績を残して参りましたが、より透明性の高い経営体制を構築するために、経営諮問委員会の設置を計画しております。平成 20 年 3 月期までにこれを発足させる予定です。法律、会計、経済等の各界有識者を招聘し、より高いレベルのご助言やご教示をいただき、当社の経営に反映させていく所存であります。

当社内部のメリハリの利いた人材登用や、外部からの専門的な人材獲得については引き続き推進して参ります。

(3) 高い成長率、高い収益性、および事業の安定的・持続的成長

昨今の米サブプライムローンに端を発する世界的な金融混迷、中国政治経済の先行き不安など、世界的に見ても多くの経済・金融面での不安要因を多々抱えており、中期見通しを策定することが困難な状況にあると考えております。上記のような環境下、主力の鍛造事業の売上高並びに経常利益については、自動車部品業界及び建設機械業界等のユーザー業界の伸びを受けた形で、今後3年程度は年率3~5%の伸びで推移するものと予想しております。

基本的に、当社は量の追求より質の追求を目指しており、新技術、新製品に特化した戦略的運営を考えております。また、自動車部品業界の海外現地化の流れについては、当社がいち早くタイに進出し成果を収め獲得したノウハウを活用し、チャンスがあれば積極的に新たな展開を図りたいと考えております。

(4) 株主価値の向上

上記(1)~(3)の実施について従来にもまして努力致しますが、これに加えてより当社を市場で認知して頂き、潜在的な価値を引き出して頂くために、広報室を設置致します。広報室では、広く投資家の皆様との双方向のIR活動を推進していく予定です。ホームページの拡充やその他のIRツールにつきましても引き続き向上に努めて参ります。

平成 19 年 11 月 15 日
株式会社 シンニッタン
代表取締役社長 府内 泰生

以 上

(問合せ先 シンニッタン 広報室 044-200-7811 担当：橋本、神永)

【ご注意：この書面は、当社株式の買受の申込や売却の誘引を意図するものではありません。本書間は、2007年11月14日時点において得られる情報を基にしています。また、本書間はシンニッタンの株価へ影響を与えることを意図したものではありませんし、当社は本書間に対する市場のいかなる反応についても保証するものではありません。】